

# 4 海洋プラスチックごみをへらそう!

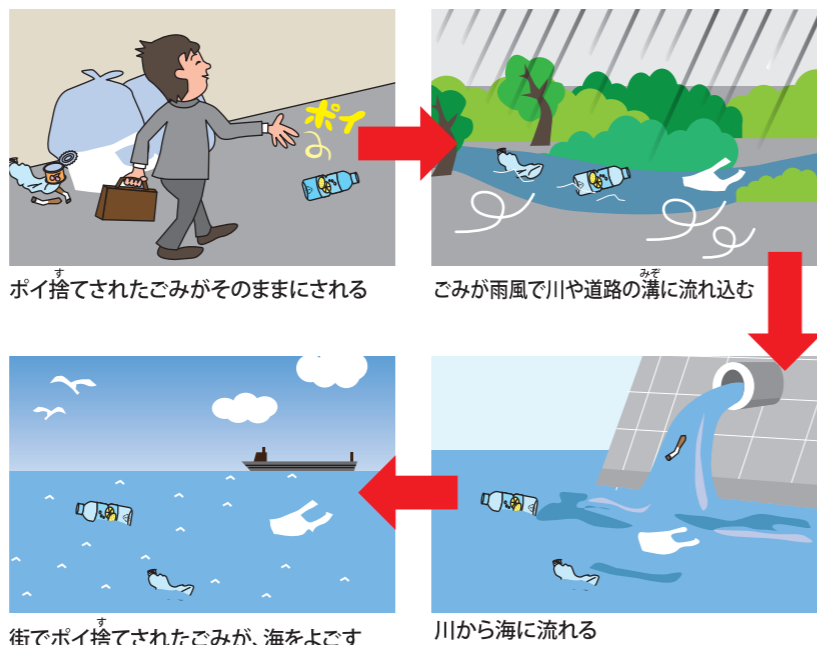


## プラスチックごみで海がよごれています!

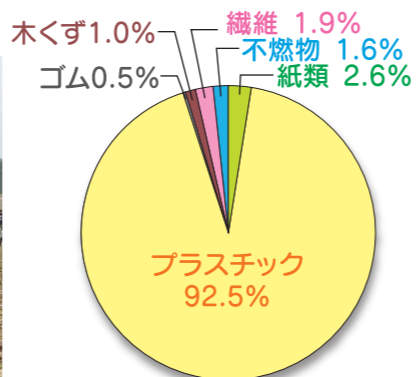
海にあるごみのほとんどは、わたしたちがくらす陸上で発生して、道路の溝や川をとおって海に流れ着いたものです。

その中でもとくに多く見られるプラスチックごみは、海をよごすだけでなく、魚や鳥がまちがって食べてしまうなど、生き物にも影響をあたえており、世界中で問題になっています。

海に流れこむプラスチックごみがこのままふえ続けると、2050年には、海でくらす魚の量よりもプラスチックごみのほうが多くなってしまおうともわれています。



ラブアース・クリーンアップの海岸清掃の様子 (令和4年6月12日実施)



海岸清掃で集めたごみの中身 (生の松原海岸) (令和元年6月調査)



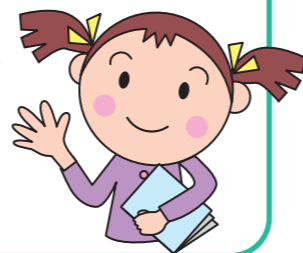
魚をとるあみにかまいったウミガメ

「環境省平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務」より抜粋

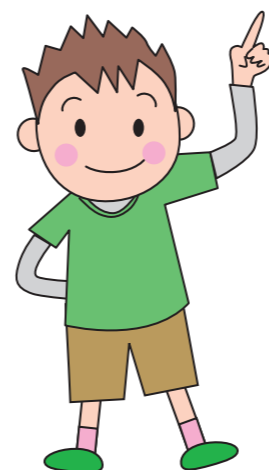
### きれいな海を守るためにも

1. ポイ捨てをしない
2. 海に流れる前にまちを清掃する
3. プラスチックごみを出さないように工夫する

できることから始めることが大事だね。



# ポイ捨てごみをなくそう



ごみのポイ捨てをしてはいけません。ごみのポイ捨てはまちだけでなく、海や川をよごすことにもつながります。

外で出たごみは、家に持ち帰って捨てようね！ まちをきれいにするためにみんなでいっしょに取り組もう。



環境シンボルキャラクター

エコッパ

## 身近な清掃活動

### 学校では…



登校中に… 決められた日の登校中に、ごみ拾いをしています。



学校のみんで… まちの清掃活動に参加しています。

### 地域では…



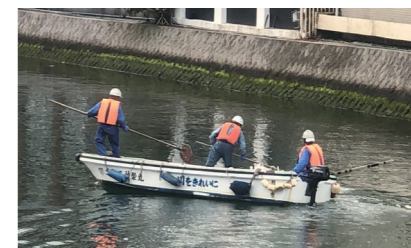
まちぐるみで… 町内の清掃に参加しています。



市民が協力して… 毎年、6月ごろに行うラブアース・クリーンアップで、海岸や川の清掃をいっしょに行っています。



福岡市も… 道路や川の清掃を定期的に行っています。



★日本に限らず、世界中で問題とされる海洋プラスチックごみについて、自分たちで何ができるのか考えさせてください。  
●波や紫外線による劣化などの理由で5mm以下になった微細なプラスチックを「マイクロプラスチック」と呼び、これを生き物がえさと間違えて食べることで生態系に影響を与えることが心配されています。  
●すでに海に広がってしまったマイクロプラスチックの回収は困難です。これ以上の汚染を防ぐためには海に流出するプラスチックごみの量を減らすしかありません。



★私たちの町のあらゆる場所で、住みよいまちづくりのために美化活動が行われていることや、一人ひとりが家や学校など身の回りをきれいに清掃し、住みよい環境をつくるための努力をすることが大切であることに気付かせてください。  
●道路の清掃…福岡市は、市内の主要幹線道路やごみ処理場の周辺などを定期的に清掃しています。  
●河川の清掃…福岡市は、那珂川、御笠川、博多川の3河川を満潮時に清掃しています。